

# 高度プロフェッショナル制度での 過労死の場合

**労災認定**  
(国の責任)

**賠償**  
(会社の責任)

**訴訟**



**実労働時間  
把握不可**

**自己責任  
(会社の指示なし)**

**過労死**



## 報告

## 獣医師養成系大学の設置に係る現在の情勢について

27. 2.  
地域政策課

1. 今治市から、加計学園と加藤内閣官房副長官との面会の状況は次のとおりであり、今治市への設置は厳しい状況にあるとの連絡があった。

## 《加藤内閣官房副長官のコメント》

- ① 獣医師養成系大学・学部の新設については、日本獣医師会の強力な反対運動がある。
  - ② 加えて、既存大学からの反発も大きく、文科大臣の対応にも影響が。
  - ③ 県・今治市の構造改革特区への取り組みは評価。ただし、関係団体からの反発が極めて大きい。
  - ④ 新潟市の国家戦略特区については、詳細を承知していない。
2. そのような中、国では、国家戦略特区申請の積み残し分について、地方創生特区の名のもとに追加承認を行う模様であり、加計学園では、新潟市の国家戦略特区の中で提案されている獣医学部の設置が政治主導により決まるかもしれないとの危機感を抱いており、同学園理事長が安倍総理と面談する動きもある。



## 報告

獣医師養成系大学の設置に係る加計学園  
関係者との打合せ会等について

27. 3.

地域政策課

1. 加計学園から、理事長と安倍首相との面談結果等について報告したいとの申出があり、3月3日、同学園関係者と県との間で打合せ会を行った。
2. 加計学園からの報告等は、次のとおり。
  - ① 2/25に理事長が首相と面談(15分程度)。理事長から、獣医師養成系大学空白地帯の四国の今治市に設置予定の獣医学部では、国際水準の獣医学教育を目指すことなどを説明。首相からは「そういう新しい獣医大学の考えはいいね。」とのコメントあり。また、柳瀬首相秘書官から、改めて資料を提出するよう指示があったので、早急に資料を調整し、提出する予定。

出典：愛媛県企画振興部地域振興局地域政策課「文章の提出について(回答)」(平成30年5月21日参議院予算委員会に提出)より抜粋  
出典資料をもとに長妻昭事務所でパネル作成

平成30年5月23日(水) 衆議院厚生労働委員会 立憲民主党 長妻昭 提出資料



## 報告

## 獣医師養成系大学の設置に係る今治市 と加計学園との協議結果について

27. 3.  
地域政策課

- 1 今治市と加計学園関係者との獣医師養成系大学の設置に係る協議（3/15、同市役所で実施）結果概要について、次のとおり報告があった。
  - (1) 柳瀬首相秘書官と加計学園の協議日程について（2/25の学園理事長と総理との面会を受け、同秘書官から資料提出の指示あり）（学園）3/24（火）で最終調整中である。

(略)

(参考) 加計学園の直近の動向・今後の予定

2/25 理事長と安倍総理が面談

3/3 県との打合せ会

3/4 今治市長と面談

3/8 山本順三参議院議員を励ます会に出席した下村文科大臣と面談

3/15 今治市と協議

〔市：企画財政部長、企画課長  
学園：渡邊事務局長、          次長、          参事〕

3/24 又は 3/26（調整中）柳瀬首相秘書官に資料提出



# 首相の一日

(2015年2月25日)

【午前】7時49分、公邸から官邸。50分、加藤勝信官房副長官。8時53分、国会。9時、衆院予算委員会。

【午後】0時6分、官邸。55分、国会。1時、衆院予算委。

2時5分、官邸。33分、米シンクタンク外交問題評議会のリチャード・ハース会長。3時、毎日新聞のインタビュー。4時9分、谷垣禎一自民党幹事長。5時30分、戦後70年談話に関する有識者懇談会。6時28分、公邸。各府省庁の副大臣と会食。菅義偉官房長官ら同席。8時18分、東京・富ヶ谷の私邸。

出典：2018年5月22日「東京新聞」より抜粋  
出典資料をもとに長妻昭事務所でパネル作成

平成30年5月23日(水) 衆議院厚生労働委員会 立憲民主党 長妻昭 提出資料

パネルの写し



○内閣総理大臣(安倍晋三君)

これね、私、そも

そも、そもそもですよ、何かこれ不正があったんですか。だから私は言ったんですよ。何か確証をつかんでいるんですかということですよ、週刊誌の記事以外に。何か確証もつかずにこの国会の場において何か問題があったかのごとく、私と彼が会食、彼は私の友人ですよ、ですから会食もしません、ゴルフもします。でも、彼から私、頼まれたことありませんよ、この問題について。ですから、働きかけていません。これはつきりと申し上げておきます。

働きかけていると、何か確証を示してくださいよ。私は、もし働きかけて決めているのであれば、やっぱりそれは私、責任取りますよ。当たり前じゃないですか。